



第 18 回日本スカウトジャンボリー 体験局・特設局

8N18NSJ 開設報告書

中央会場八王子ベース（ひよどり山キャンプ場）

令和 4 年 8 月

日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ

東京連盟世田谷第 3 団 安田明



8N18NSJ 開設報告書

日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ
東京連盟世田谷第3団 安田明

第18回日本スカウトジャンボリー中央会場八王子ベースにおいて、スカウトの交流プログラムとして、体験局・特設局の8N18NSJを開設いたしました。

○日時：令和4年8月6日（土）～8月8日（月）

注：ジャンボリーの期間は8月5日～10日であったが、無線局は3日間のみ開設。

○会場：第18回日本スカウトジャンボリー中央会場八王子ベース（ひよどり山キャンプ場）
東京都八王子市大谷町

無線局免許状		免許の番号	圈入番	識別信号																																																																		
氏名又は名称	日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ 松平 頼武			8N18NSJ																																																																		
免許人の住所	東京都世田谷区下井草4-4-3 ボーイスカウト日本連盟内																																																																					
無線局の種類	アマチュア局	無線局の目的	アマチュア業務用	運用許容時間																																																																		
免許の年月日	令 4. 8. 1	免許の有効期間	令 4. 8. 31 まで																																																																			
通信事項	アマチュア業務に関する事項																																																																					
移動範囲	通信の相手方																																																																					
無線設備の設置場所／設置場所	第18回日本スカウトジャンボリー 中央会場八王子ベース ヒヨドリ山キャンプ場																																																																					
電波の形式、周波数及び空中線電力	<table border="1"> <tr><td>3HA</td><td>1210 kHz</td><td>200 W</td><td>3VA</td><td>52 MHz</td><td>200 W</td></tr> <tr><td>3HA</td><td>3537.5 kHz</td><td>200 W</td><td>3VA</td><td>145 MHz</td><td>50 W</td></tr> <tr><td>3BD</td><td>3738 kHz</td><td>200 W</td><td>3VA</td><td>435 MHz</td><td>50 W</td></tr> <tr><td></td><td>4630 kHz</td><td>200 W</td><td>3SA</td><td>1280 MHz</td><td>10 W</td></tr> <tr><td>3HA</td><td>7100 kHz</td><td>200 W</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2RC</td><td>10125 kHz</td><td>200 W</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2HA</td><td>14175 kHz</td><td>200 W</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3HA</td><td>18118 kHz</td><td>200 W</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3HA</td><td>21225 kHz</td><td>200 W</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3HA</td><td>24940 kHz</td><td>200 W</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3TA</td><td>28.58 MHz</td><td>200 W</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				3HA	1210 kHz	200 W	3VA	52 MHz	200 W	3HA	3537.5 kHz	200 W	3VA	145 MHz	50 W	3BD	3738 kHz	200 W	3VA	435 MHz	50 W		4630 kHz	200 W	3SA	1280 MHz	10 W	3HA	7100 kHz	200 W				2RC	10125 kHz	200 W				2HA	14175 kHz	200 W				3HA	18118 kHz	200 W				3HA	21225 kHz	200 W				3HA	24940 kHz	200 W				3TA	28.58 MHz	200 W			
3HA	1210 kHz	200 W	3VA	52 MHz	200 W																																																																	
3HA	3537.5 kHz	200 W	3VA	145 MHz	50 W																																																																	
3BD	3738 kHz	200 W	3VA	435 MHz	50 W																																																																	
	4630 kHz	200 W	3SA	1280 MHz	10 W																																																																	
3HA	7100 kHz	200 W																																																																				
2RC	10125 kHz	200 W																																																																				
2HA	14175 kHz	200 W																																																																				
3HA	18118 kHz	200 W																																																																				
3HA	21225 kHz	200 W																																																																				
3HA	24940 kHz	200 W																																																																				
3TA	28.58 MHz	200 W																																																																				
備考	1. 2. 8. 0. M. H. S. 帯の使用は、一次業務の無線局に有害な電波を生じさせ、又は一次業務の無線局からの有害な電波に対して保護を要示してはならない。 この識別信号の使用は、令和4年8月1日から令和4年8月31日までに限る。 法律に別段の定めのある場合を除くほか、この無線局の無線設備を使用し、特定の相手方に対して行われる無線通信を受受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを転用してはならない。																																																																					
令和 4 年 8 月 1 日	関東総合通信局長																																																																					



○開設に至る経緯

令和3年10月実施のJOTA-JOTIプラザの報告書を、安田より東京連盟白川理事長、村山県連盟コミッショナーに提出したところ、令和3年12月白川理事長（日本連盟18NSJ実行委員長）より、安田あて18NSJのプログラムとしての無線局の開設依頼を頂いた。その後、東京連盟佐野副コミッショナー（東連18NSJプログラムチーフ）と具体的な打ち合わせを行い、また、日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ（NBSARC）役員及び東京関連の会員と打ち合わせを行い、体験局・特設局8N18NSJを開設となりました。

○奉仕者

安田明（世田谷第3団）・・・プログラムチーフ
浪間英一（練馬第13団）、吉田信昭（文京第6団）、
五ノ井俊一（NBSARC会員）、小林則也（NBSARC会員）



高田隆甫（8/8のみ 茨城県連盟守谷第1団 VS）

○ご協力頂いた企業・団体

アイコム株式会社

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟（JARL）

一般財団法人 日本アマチュア無線振興協会（JARD）

○プログラムの概要

- ・無線従事者の資格を持っていないスカウトに対しては、体験局としてアマチュア無線の運用を体験できるプログラムを行った。体験プログラムを通じて、通信や電波などに興味を持たせ、アマチュア無線の従事者免許取得への動機づけや技能章：無線通信章他（信号章、電気章、ラジオ章、有線通信章、世界友情章 等）取得への第一歩とします。
- ・有資格のスカウト・指導者には、ゲストオペレーターとして特設局の運用をできるようにした。
- ・スカウトの来訪の無い空き時間については、スタッフによって特設局を運用し、一般のアマチュア無線家へのサービス運用をすることにより、ボーイスカウト運動のPRを行った。

○プログラム実施状況

- ・体験局プログラム 体験スカウト・指導者：8月6日4名 7日17名 8日13名
計35名

体験については、当初は班単位での事前予約としたが、他のプログラムとの関連で予約が少なかったため、当日個人単位で申し込み可と変更したが、実際には、ほぼ班単位での来訪であった。

体験プログラムは、1時間単位での実施とした。受付後、事前に準備した学習用資料を元に、レクチャーを20分程度行い、その後に体験運用を行った。待ち時間や体験後に時間があるスカウトについては、CW（電信、モールス通信）の模擬体験も行った。体験運用の相手局については、指揮者が広く一般局に呼びかけて相手を求めた場合と、あらかじめ決めてスタッフが相手をした場合の両方ある。スカウトの時間の都合上、レクチャーを短縮した時もあった。

スカウト達の体験運用への反応としては、最初は緊張しているものの、話始めればきちんと受け答えもし、終了後は、「楽しかった」「興味を持った」というスカウトが多かったように感じる。昨年、一昨年 of JOTA に参加し、前回よりもうまく話をしたいと思って再体験のスカウトもおり、繰り返しの実施で、更に興味を引くことも改めて意識させられた。

体験運用を機会に多くのスカウトに興味を持ってもらい、無線従事者免許の取得を始め、ワイヤレス IoT 人材の裾野を広げる役目を担えれば幸いである。

・特設局運用プログラム

特設局運用指導者：4名（スタッフ以外の有資格者）及びスタッフ6名 計10名

8N18NSJ バンド・モード毎のQSO数																						
バンド	モード	エリア												計	バンド計							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	DX										
7	CW	32	13	26	15	8	10	18	8	13	20	1	164	622								
	SSB	98	41	60	32	21	16	52	22	10	16	368										
	FT8	28	7	14	7	2	1	6	6	3	5	11	90									
10	CW	3		1	3	1		2	4				14	14								
14	CW	1											1	4								
	SSB	1			1		1						3									
21	CW	3					1		2				6	111								
	SSB	11			2	4	8		12			1	38									
	FT8	18	1	1	7	3	3		3			31	67									
50	CW	11											11	140								
	SSB	59	1					1					61									
	FT8	61	3				2		1			1	68									
144	CW	19											19	137								
	SSB	52											52									
	FM	15											15									
	FT8	42	1	1				4			3		51									
430	SSB	6											6	116								
	FM	77	1										78									
	DV	11	2	5			2	1	2		3	4	30									
	FT8	2											2									
1200	FM	2											2	2								
計		552	70	108	67	39	44	84	60	26	47	49	1146									

参加隊の有資格の若い指導者が海外局と交信してみたいとのことで、来局し D-STAR（デジタルモード）にて、イングランド及びカタルとの交信を果たせた。また、取材に訪れた Masaco 様が 7MHz にて運用時には、その直前に男性スタッフが運用していた時と比べ、数倍の応答があった。

○プログラム（体験局運用・特設局運用）時のスカウトの声、エピソード等

・私（吉田）が 8N18NSJ 記念局運用で宮古島の方と D-STAR 交信をしている際に体験局に訪れた班は、その方に体験局のお相手をいただきました。その方はなんと宮古島で活躍する TV アナウンサーで、スカウト達はインタビュー並みの質問の嵐に応じておりました。スカウトの「なんでアナウンサーになったのですか？」の問いには、「プロ野球中継がやりたくてアナウンサーになった」との事。スカウト達はすかさず、自分達の好きなヤクルトと阪神を名指して、模擬実況放送をリクエスト！ まるで球場にいるかのような実況で、得点の際には皆でハイタッチをするほど超盛り上がり、プロの話術に魅了される交信を楽しみました。体験局、その感動は体験者の数だけあります。その方法は指揮者の数だけあります。

・運用に訪れた若手指導者の方は、米国と英語で交信を楽しみたいとの希望があり、D-STAR リフレクタを用いて海外との安定した交信を確保しました。時差の兼ね合いで英国の局と英語の交信になりましたが、スカウト発祥の地で会話が盛り上がっておりました。

・中1のスカウトが先輩達に連れられて体験局の運用をさせてもらった。先輩が海外との交信をするのを見て驚き、さらに自分でも沖縄の人と交信できたので、とてもうれしくなり興奮していた。アマチュア無線にとっても興味がわいたようだった。

・初めての運用にもかかわらず、一般局相手に、「ボーイスカウトを知っていますか」「キャンプに行ったことはありますか」などと、積極的に質問をして、自ら会話を作れるスカウトもいた。この交信は、144MHz 帯の SSB モードで指揮者が広く呼びかけて、応答頂いた一般局との間で行われたが、相手の一般局の方がわかりやすく親切に対応頂き、非常になごやかに行われた。また、信号強度が高かったこともあり、一般に聞き取りにくいと言われる SSB モードでの通信でも、スカウト達はそれほど違和感なく、受信できていたようだ。

・無線通信の一方向通信に慣れていないため、PTT (Push to Talk 押している間に送信となるスイッチ) を押して話をし、離して聞くということが、なかなかできないスカウトもいた。

・自団のスカウトが体験局に参加することを知っていた副団委員長のアマチュア無線局が、自宅(調布市)にて聴取しており、スケジュールを組んだ訳ではないが、体験局指揮者の呼び出しを見つけて、応答頂けた。その結果、体験スカウトが自団の副団委員長と交信することができた。スカウトは、八王子のジャンボリー会場と自宅近くの調布市の間で、そして良く知っている副団委員長と交信できたことにびっくりしていた。

○機材の状況

無線機 (アイコム株式会社貸与)

IC-7851 (200W 機)、IC-7300 (50W 機)、IC-9700 (50W 機)、IC-705 (10W 機)

アンテナ (NBSARC 備品及び会員私物)

7MHz フルサイズダイポール、21MHz2 エレ八木、50MHz5 エレ八木、144MHz5 エレ八木、430MHz9 エレ八木、7~50MHzGP、144~1200MHzGP

運営用施設 (大会本部準備及び会員私物)

H5 マーキー (2間×4間) 1張、長机 6脚、折り畳み机 4脚、椅子 20脚、電源 100V30A、夜間照明設備

○取材の状況

8月8日 13:00~16:00 アイコム株式会社 FB ニュースの取材を受ける。来訪者: Masaco 様、松平様、羽根田様 FB ニュース 9月号か10月号に掲載予定。

まず、Masaco 様へ、大会記念ネッカチーフとラジオスカウティングの名札の贈呈式を行

18th NIPPON SCOUT JAMBOREE
ALL OVER JAPAN

いていたスカウト達でも、マイクを握れば生き生きとした会話をしてくれるのが、とても嬉しかったです。

全国のNBSARC/JAIYSS 会員各局のご協力と応援を戴いて、無事にジャンボリー局を終えることができ、感謝と安堵の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました&お疲れ様でした。

・吉田信昭（文京第6団）

安田さんをリーダーにご参加いただいた皆様大変お疲れ様でした。自分の予定が定まらず第三次募集で申し込みました。こころよく加えていただきありがとうございました。

やりながら改善を余儀なくされる前例のない新しいスタイルのジャンボリーで、特設局兼体験局 8N18NSJ が少人数でも運用できたことを嬉しく思います。

スカウト及び訪問者の運用は、これまでの JOTA で蓄積した経験が生かされて、スカウト個々の技量に合せた運用を楽しんでいただけたと思います。参加者に特製の学習資料や QSL カード、運用交信簿（控え）と JARD、JARL から頂いた資料を渡しました。

スカウトの募集に関して、アクティビティプログラムではなく、交流プログラムの枠で掲載され、急遽募集要領の改善を試みましたが、参加数が予想を下回る結果になったと察します。

特設局の設営や特設局運用は、都度打ち合わせをしながら進めました。さすがに3日間だけの特設局の為、どのバンドでも大変な賑わいでした。私的には24時間電波を出し続けたい。その為にクラシックな運用は生活時間帯で行い、FT-8 など自動運用は寝静まった夜中にする方が良いと感じました。

生活面では、参加者とゲストでは参加費も異なり、特に食事などの扱いで集合活動をする上で支障があったと思われます。

無線界の広報は、Web hamlife.jp、FM 成田ハムのラジオでお伝えいただきました。当日は機材をお借りしたアイコム社 Web FB ニュースの取材を受けました。Masaco さんは仲間の証であるネッカチーフと支援者バッジを着用して、体験者の応答役やスカウト達との歓談など、楽しく取材をいただけたと思います。

たくさんの方々の支援をいただき、お陰様で貴重な経験をさせていただきました。

ありがとうございました。

・五ノ井俊一（NBSARC 会員）

18NSJ にプログラムゲストとして立会が出来たことは光栄に存じます。

事情によりフル参加できませんでしたが貴重な経験が出来ましたこと感謝申し上げますありがとうございました。

・小林則也（NBSARC 会員）

この度は「日本スカウトジャンボリー」に参加させて頂く機会に恵まれました。

当日は炎天下でのアンテナ設営や管理など、大変な事もありましたが体験局に訪れたスカ

18th NIPPON SCOUT JAMBOREE
ALL OVER JAPAN

ウトの興味津々な輝く目には、疲れを忘れる程の思いでした。
今後もこのような活動を通じて免許や技能章取得に貢献出来ればと考えております。

・高田隆甫（8/8のみ 茨城連盟守谷第1団 VS）

最終日のみの参加でしたが、体験局の指揮者と特設局 OP の両方をやらせていただき、とても楽しかったです。今回特に印象に残っているのが「体験していた BS の積極性」です。例えば、カンペの最後にある「自由に話してください」の部分。JOTA Plaza での経験から、自分から進んで話題を展開できる BS は少ないだろうと予想していました。しかし、実際は「私はたまに小学生向けに図書館で読み聞かせをやっているので、話すのが大好きです。」

「八王子も熱いですが、太田はもっと暑かったです」

など、それぞれが話したいことを進んで相手に伝えており、とても驚きました。また仕込み役からされた質問に対し一言で返すのではなく、

「将来は指導者になってスカウトを育成したいです！」など自分の言葉で答えを発展させている人もおり、レベルの高さを感じました。もちろんすべての人がこのような状態だったわけではありませんが、我々が用意したプログラムをただ受け身の姿勢でこなすのではなく、そこに少しの積極性があれば体験交信をより楽しく有意義なものにできるのだなと思いました。

今回は準備段階でなにもお役に立つことができず申し訳ありませんでした。8N18NSJ を成功させることができたのはスタッフ一人一人がそれぞれの得意分野で頑張ったからだと思います。誰か一人でも欠けてしまったら失敗に終わっていたかもしれません。一人一人への感謝の気持ちを持つことを忘れずに、10月の JOTA では指揮者として 18NSJ での経験を生かして頑張ります。

・安田明（世田谷第3団）

昨年、ジャンボリーでの無線局を開設して欲しいとのお話を頂き、半年以上準備してまいりました。私自身、過去のジャンボリーでは、参加者の立場として無線局を訪問し、運用をさせていただいたことはありましたが、自身が運営側に回るのは初めてのこと。そして、一昨年の省令の改正により、過去のジャンボリーにはなかった資格を持っていないスカウトの体験運用も加わりました。JOTA での経験やイメージはありましたが、それを具体化する作業であったと思います。コロナ禍で直接会っての打ち合わせはできませんでしたが、逆にオンラインミーティングという新しい手法を使い、遠方の方も含めタイムリーに打ち合わせできたことは大きな力となりました。

その結果として、一緒に奉仕した仲間、そして大会スタッフや NBSARC 会員などたくさんの支援者、支援企業、支援団体のおかげもあり、無事開催できました。ありがとうございました。感謝いたします。

○ギャラリー





以上

18th NIPPON SCOUT JAMBOREE
ALL OVER JAPAN